

議会報告会の質疑応答概要（総務委員会）

NO	質疑応答の要旨
1	<p>Q</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の1ページにあります、議会と市長の役割について、この前の市長選挙において23%と投票率が非常に低い結果となっていました。この日は全国で選挙を実施していますが、他市では投票率が60%、70%となっています。天気だけではなく、市民の関心度というか、「現職なのだろう」と安易な考えかどうか分かりませんが、今後の選挙に関して議会はどのように考えているのか。選挙に関して明確な手本を示さないといけないと思います。 ・また、東武野田線について、東武春日部線にするとか名称の変更を東武鉄道にお願いができませんか伺います。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率について、議会でどうやって投票率を上げるか、広報活動をどのようにしたらよいかといった議論を重ねてきています。我々が広報活動に予算を投じるよう働きかけるという方法もありますが、春日部市を良くしようという多くの人材が市長選挙に挑戦できるようなことも含めて、しっかりと取り組んでいきたい思います。(武委員長) ・東武線の名称変更は、相手が民間企業でございますので、要望として伺わせていただきます。貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。(武委員長)
2	<p>Q</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通行政面で、昨年9月から三ヶ月間、緊急事故防止対策を進めたとの報告があり、その結果として今年は死亡事故が2件だけと伺いました。なお、防犯の面で春日部市の犯罪発生総件数が、県内のワースト3に入っていると聞いていますが、その対策も考えてもらいたいと思います。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯についても、防災ともども全力で取り組んでいきたいと思いますので、春日部警察署と協力の上進めさせていただきたいと思います。なお、防犯カメラの設置など様々な具体策もありますので、皆様のご意見をいただきたいと思います。(武委員長)
3	<p>Q</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行財政改革について、埼玉県内で春日部市が地方交付税を一番多くもらっているということはどういうことなのか。お金がないからもらっているのか、それとも人口に合せてもらっているのか。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方交付税について、確かに春日部市が一番多くなっています。地方交付税の算定の計算もありますが、特に企業法人税の税収が少ないのが特徴的な状況になっています。(武委員長) ・地方交付税が県内で一番多いのは事実です。基本的には収入と支出の差を埋めるのが地方交付税です。わかりやすく答えればお金がないということも言えますが、春日部市は合併を行っておりまして、合併特例債が国から交付税として算入している状況がありますので、これによってもいくらか多くなっている状況はあります。お金があるのかないのかといえば、ないほうと言えますが、ただそれだけではなく、別の要因もあるということです。(小久保委員)
4	<p>Q</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度に農業委員は30名いたものが20名に減らされることに決まったような話を伺っています。来年に市議会議員選挙があると思いますが、改革をやるのかやらないのか、人数を削減するのかしないのか。私が思うには、人口1万人に一人が適当ではないか、他の市町村と比較しますと、その辺りがベターなのではないかと考えています。 <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議員定数については、現在、春日部市議会でも議論中でございます。まだ結論が出ていませんので細かく話ができない状況ですが、ある程度結果が出ましたら何らかの形で皆様にお知らせしたいと思います。(武委員長) ※議員定数については、春日部市議会ホームページに掲載の「議員定数等に関する協議結果報告書」をご覧ください。

NO	質疑応答の要旨	
5	Q	<p>・地方交付税と合併特例債とは違うのだという印象を受けましたが、春日部市と庄和町が合併したときに、合併特例債は私が勘違いしているのかもしれませんが、249億円近くもらうことになっていくと思うのです。地方交付税は合併特例債とは違う意味があるのではと思うのですが。</p>
	A	<p>・合併特例債は、現金でもらえるものではなく、地方交付税の中で後で算入してもらえるお金です。合併する際に249億円というお金を使えるのだとお話している方が多かったですけれども、使えるのは使えるのかもしれませんが、現金でもらうのではなく、地方交付税の中に算入して市に入ってくるという性質のお金になります。理論上で算入されているというのが地方交付税の制度になります。(小久保委員)</p>
6	Q	<p>・地方交付税が多いのは、合併特例債を合算してしまうから多いということなのですか。</p>
	A	<p>・市町村合併を行った地方自治体は合併特例債を活用していますので、地方交付税の算定の中に合併特例債のお金の部分が入ってきます。春日部市は合併特例債を借り入れしているから多いのです。(小久保委員) ・合併特例債は、後年度に地方交付税として市へ入ってくる状況になっています。(武委員長)</p>
7	Q	<p>・合併特例債は計画と点検を十分していないともらえないと聞いていますがけれども、幾らくらいが市民の負担になるのか。春日部では3億円くらいが市民の負担かなと聞いたことがあるのですが、その辺りはいかがですか。</p>
	A	<p>・249億円を全て使い切った場合には、75億円くらいが市民の負担になるだろうと思います。(小久保委員)</p>
8	Q	<p>・私は計算したことがないのですが、使ったほうがいいのかではないのですか。</p>
	A	<p>・合併特例債は議員としても扱いが難しいものでした。何にでも使えるかといいますと、春日部市が使いたいと思っても許可がなければ使えません。議員の中でも合併特例債の活用を議論していますので、249億円使えるなら使ったほうがいいのかという人もいますが、その辺を慎重に議会で判断していかないとはいけません。(小久保委員)</p>
9	Q	<p>・人に聞いた話ですが、もっと設計などを行って、申請したほうがいいのかではないのですか。計画がないともらえないとのことですが。</p>
	A	<p>・そのとおりです。計画がないと使えませんので、きちんと計画を立てて、我々議員もチェックをかけていきます。(小久保委員) ・合併特例債は平成30年まで延びました。春日部市は地方交付税の額が県内で最も多くなっていますが、基本的には、民間事業所が少ないというのが大きな特徴です。(武委員長)</p>